

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	垂井町立 垂井小学校		
実 施 期 間	平成26年11月15日(土)		
実 施 概 要	①授業参観(人権に関わる学級活動、あるいは道徳) ②親子で人権を考える会 ・低学年 人権講話「だいじょうぶ、だいじょうぶ みんなだいすきだから」後藤政幸氏 ・高学年 人権講話「e-ネット 安心講座」井口卓也氏		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他(人権を考える会)		
来 校 者 数	保 護 者	160	人
	地 域 関 係 者	0	人
計		160	人
実 施 状 況	①授業参観について(低学年:1時間目、高学年:3時間目) 低学年、高学年に時間を分け、1時間を参観授業として公開した。 授業参観では、学級活動、あるいは道徳において、人権に関わって心を耕したり、学級や自分を振り返ったりする授業を公開した。特に学級活動では、クラスの人権宣言に関わる話し合い活動を行い、12月の人権集会に向けて、さらに人権感覚を高める機会となった。 ②親子で人権を考える会(人権講話) 低学年は2時間目、高学年は4時間目に、親子で人権講話を聞く機会を設けた。会の運営はPTAの成人教育委員会が中心になって行った。低学年は片足が義足の後藤政幸氏から、命の尊さや、お互いを大切にしようことを、高学年は井口卓也氏から、インターネット、スマートフォン活用の仕方について学んだ。		
成果及び課題	成果 ○保護者に、人権に関わる学級活動や道徳の授業を見ていただき、学校で行っている人権教育について知っていただくことができた。特に学級活動では、人権という視点から学級の様子や自分自身を振り返る姿を見ていただき、子どもたちの成長を感じていただくことができた。 ○それぞれの学年の実態に合わせた人権講話であり、子どもたちにとって有意義な時間となった。低学年の講話は、大人が聞いても感動するお話であり、できれば高学年の子どもたちにも聞かせてあげたかったという声をいただいた。高学年の講話は、家庭で、パソコンやスマートフォンを使う約束を決めるなど、子どもたちにも、また、親にも必要な内容であった。 課題 ●授業参観までは多くの保護者の方が参加してくださったが、人権講話まで残っていただけた方は少なかった。どのような内容の講演会で、また、講演会の内容を受けて家庭でどのようなことを話題にしてほしいのかについて、前もって宣伝をしておくなど、当日を迎えるまでの工夫が必要である。		